

バイオ系のキャリアデザイン

就職支援 **OG OB** インタビュー編

Interview ①

株式会社カネカ 再生・細胞医療プロジェクト（主任）
 トロント大学 Institute of Biomaterials and Biomedical Engineering (IBBME)（客員研究員）

秋山 裕和



出身大学・卒業年度：九州大学大学院工学府化学システム工学専攻 2011年 博士課程修了
 博士論文タイトル：磁気組織工学技術を用いた三次元組織構築

「現在の仕事について」

◆担当職務

再生・細胞医療に関する研究開発

◆現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容

・2011年4月～2016年9月現在（2016年5月以降、休職中）株式会社カネカ

仕事内容：再生・細胞医療用の自動培養装置の開発と、装置の臨床使用に向けた研究

やりがい：社会貢献性が高い医療分野の研究に従事できていること、産業として飛躍的な成長が期待される再生・細胞医療の研究に従事できていること、がやりがいです。

・2016年5月～2016年9月現在（社内留学制度にて留学中）トロント大学 IBBME

仕事内容：幹細胞のバイオプロセス開発に関する研究

やりがい：バイオプロセス工学の専門性を高めることを目的に社内留学制度を活用し留学しています。研究室で学ぶことすべてが必ず将来役に立つと確信を持って研究活動を行えていることが1番のやりがいです。

◆現在の会社の魅力

自由に意見を交わしたり、提案したりすることを歓迎する風土が根付いていることに加え、上位職の方々が若手の教育に熱心であることが魅力です。また、研究開発においては、外部機関との共同研究を積極的に推進しているため、社外の方々のさまざまな考え方に触れられることが魅力です。

◆現在の就職を決めた理由

機能的食品、医薬品中間体、バイオロジクス、医療機器など、私が興味を持っていたライフサイエンス分野の研究を幅広く手掛けていることや、事業を多角化しているため社内にさまざまな異分野の技術があり、それらのシナジー効果によってさまざまな製品群を創出してきていることに魅力を感じたことが、就職を決めた理由です。

◆挑戦したいと思っていること

留学終了後は、積極的に海外関連の仕事に挑戦したいと思っています。

◆社会人として一番感動したこと

どれが一番というのはありませんが、困難と思える仕事をやってのける会社の諸先輩方の仕事振りを見たときに、その方々が積んできた経験の量と質のすごさを感じ、感動しました。

◆仕事のプロになるコツ

自分はプロと呼べるレベルにありませんが、会社の諸先輩方を見ていますと、皆何らかの強みを持っており、その強みを活かして、仕事を前進させているように思います。その強みは、技術面、知識面、性格面など、人によってさまざまです。個人的には、強みを持つこと、強みを増やすことがプロになるための1要素と思います。

◆博士力、どこで発揮していますか？

専門的な面は、発揮するように意識しています。また、論文としてまとめるまで研究をやりきらなければならないという状況で身に着いた忍耐強さも活かしているように思います。

「人生について」

◆何のために働くのですか？

生活するためのお金を稼ぐため、社会に貢献するため、人として成長するためです。

◆ワークライフバランスで工夫していること

工夫しているというほどではありませんが、趣味の時間を確保して、ストレスをためないようにしています。

◆将来の夢は？

再生・細胞医療に貢献することや、会社のこの事業領域に貢献することが夢です。

「後輩へ」

◆**学生時代にやっておいたらよかったと思えること**
 学生時代だからこそできることをもっと頑張っておけばよかったと思っています。

◆**その他なんでも、後輩に伝えたいこと**
 社会人になって感じることは経験がとても大切だという

ことです。困難なことは避けたいと思ってしまうがちですが、チャレンジしたときにどれだけの経験が得られるか想像してみたら、やってみようというポジティブな気持ちになるのではないのでしょうか。いろいろな経験を積んでください。

連絡先 E-mail: Hirokazu.Akiyama@kaneka.co.jp

Interview ②

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科革新的医療技術創出拠点プロジェクト (准教授)

富田 秀太

出身大学・卒業年度：名古屋大学大学院工学研究科生物機能工学専攻 2002年 博士課程後期修了
 博士論文タイトル：バイオインフォマティクス分野への知識情報処理手法の応用



「現在の仕事について」

◆担当職務

- ①がんゲノム解析・クリニカルシーケンス解析
- ②微生物比較ゲノム解析 & 細菌叢解析
- ③バイオバンク・バイオマーカー解析支援

◆現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容

- ①愛知県がんセンター研究所にてポスドク & 研究員
 - ・網羅的遺伝子発現データ解析
 - ・プロテオミクスデータ解析
- ②名古屋大学大学院医学系研究科にて助手
 - ・同上
- ③カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) ポスドク
 - ・微生物比較ゲノム解析
 - ・皮膚細菌叢解析
- ④近畿大学医学部にて講師
 - ・次世代シーケンサー (NGS) を用いたがんゲノム解析
 - ・クリニカルシーケンスの実施とデータ解析

◆やりがい

- ・世の中にないデータを取得し、世界で初めてデータを解析し、サイエンスクエストの空欄を埋めていくこと。
- ・(パイオニアとして) 経験した試行錯誤のプロセスは、研究者としても社会人としても成長の糧となる。

◆**現在の会社・組織 (アカデミアを含む) の魅力**
 バイオメディカルビッグデータの解析を通じて、今までにない切り口から、メカニズムの解明に迫ること。

◆現在の就職を決めた理由

- ・岡山大学病院バイオバンク (通称:岡大バイオバンク) を設立し、次世代シーケンサーなどの解析機器をそろえ、バイオメディカルデータサイエンスの実施にふさわしい研究環境がそろっていたこと。
- ・独立したポジションで学内外を問わず、研究を推進できる環境を提供してもらえたこと。

◆将来設計 (描けるキャリアパス)

変革期にある大学のPIとしてユニークなコンテンツになること。

◆挑戦したいと思っていること

- ・(研究成果による) 自費で研究を実施すること。
- ・ICTを活用したバーチャルラボを世界中に展開すること。

「社会人として」

◆社会人として一番感動したこと

- ・給料をもらえること (経済的に独立したこと)。
- ・留学経験を通して日本人としての国籍を実感したこと。

◆社会人として一番困難だったこと & どう乗り越えましたか

- ・捨てる神あれば拾う神あり

◆仕事のプロになるコツ

- ・日々の精進を継続すること (継続は力なり)
- ・チャレンジを継続すること (常に挑戦し続ける)